



平成26年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年2月5日

上場会社名 藤久株式会社

上場取引所 東名

コード番号 9966 URL <http://www.fujikyu-corp.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 後藤 薫徳

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長

(氏名) 佐藤 哲雄

TEL 052-774-1181

四半期報告書提出予定日 平成26年2月6日

配当支払開始予定日

平成26年3月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第2四半期の業績(平成25年7月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第2四半期	10,655	0.4	67	538.2	74	269.5	△55	—
25年6月期第2四半期	10,608	△1.2	10	△94.9	20	△92.6	△83	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
26年6月期第2四半期	△13.12	—
25年6月期第2四半期	△19.85	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第2四半期	16,888		12,136			71.9
25年6月期	16,657		12,227			73.4

(参考)自己資本 26年6月期第2四半期 12,136百万円 25年6月期 12,227百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
25年6月期	—	20.00	—	10.00	30.00
26年6月期	—	16.00	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年6月期の業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	22,704	1.6	893	△14.5	902	△15.2	338	—	80.39

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年6月期2Q	5,505,000 株	25年6月期	5,505,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年6月期2Q	1,300,283 株	25年6月期	1,300,283 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年6月期2Q	4,204,717 株	25年6月期2Q	4,204,771 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
3. 補足情報	8
事業部門別・商品区分別売上高等の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 2 四半期累計期間における店舗展開につきましては、新規出店では手芸専門店「クラフトハートトーカー」15店舗、「クラフトワールド」1店舗、「クラフトパーク」2店舗及び生活雑貨専門店「サントレーム」3店舗の合計21店舗を開設し、退店では「クラフトハートトーカー」3店舗、「クラフトワールド」1店舗及び「サントレーム」2店舗の合計6店舗を実施しました。この結果、当第 2 四半期会計期間末の総店舗数は、前事業年度末比15店舗純増の475店舗となりました。また、沖縄県へ出店したことにより、全都道府県への出店を達成しました。

店舗販売部門につきましては、手芸専門店では店舗内ソーイングスクールの開講店舗を前事業年度末比29店舗純増の155店舗に拡大するとともに、出張講習会やイベント講習会等の実施による既存講習会の活性化を図るなど、手づくりライフの提案・強化に取り組みました。商品面では、衣料品や生活雑貨等の拡充・販売強化を推し進めるとともに、財布・ポーチ・バッグの手づくり用材料等を集約したコーナー「がまぐちFACTORY」を展開するほか、材料別による手づくりスターターキットや編み針を使わない編み物道具、針・糸いらずの布用接着剤等の「かんたん」をテーマにした提案により、顧客層の拡大を図りました。生活雑貨専門店ではギフト商品向けに多種多様な包装紙・リボン・タグによる有料ラッピングの導入を推し進めましたほか、商品面では夏季のUV対策衣料品や冬季の防寒衣料・服飾品などが好調に推移しました。当部門の売上高は、商品区分別では毛糸、手芸用品及び生活雑貨は前年同四半期を下回りましたものの、生地、和洋裁服飾品及び衣料品が前年同四半期を上回りました結果、101億38百万円（前年同四半期比0.1%増）となりました。

通信販売部門につきましては、手芸用品及び生活雑貨のネット通販サイトでは、アクセス数の増加策に取り組むとともに、出店先の電子モールの販売促進策に連動したセール企画等を推し進めましたほか、店舗販売部門における販売情報を活用した売れ筋商品の早期導入を図りました。当部門の売上高は、商品区分別では毛糸及び衣料品は前年同四半期を下回りましたものの、手芸用品、生地、和洋裁服飾品及び生活雑貨が前年同四半期を上回りました結果、4億92百万円（前年同四半期比8.1%増）となりました。

その他の部門の内容は不動産賃貸収入であります。当部門の売上高は24百万円（前年同四半期比0.7%増）となりました。

これらの結果、当第 2 四半期累計期間の業績は、売上高は106億55百万円（前年同四半期比0.4%増）と増収となり、利益面では販売費及び一般管理費を抑制しましたものの、商品区分別売上構成比の変動等による売上総利益率の低下などから、営業利益は67百万円（前年同四半期比538.2%増）、経常利益は74百万円（前年同四半期比269.5%増）、四半期純損失は55百万円（前年同四半期83百万円の四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第 2 四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ 2 億30百万円増加し、168億88百万円となりました。流動資産は 2 億99百万円増加し、固定資産は68百万円減少しております。流動資産の増加は、主に未収還付法人税等が 1 億57百万円減少しましたものの、現金及び預金が 2 億63百万円、商品が 2 億55百万円とそれぞれ増加しましたことによるものであり、固定資産の減少は、主に差入保証金が98百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第 2 四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ 3 億21百万円増加し、47億51百万円となりました。流動負債は 3 億12百万円増加し、固定負債は 9 百万円増加しております。流動負債の増加は、主にその他に含まれております未払金が81百万円減少しましたものの、支払手形及び買掛金が 3 億16百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第 2 四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ90百万円減少し、121億36百万円となりました。主に利益剰余金が97百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第 2 四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ 2 億63 百万円増加し、35億86百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、5 億10百万円（前年同四半期は 8 億35百万円の支出）となりました。主なプラス要因は、仕入債務の増加額 3 億16百万円、減価償却費 1 億99百万円、法人税等の還付及び還付加算金の受取額 1 億61百万円、差入保証金の減少額 1 億 9 百万円であります。主なマイナス要因は、たな卸資産の増加額 2 億55百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、76百万円（前年同四半期は 1 億37百万円の支出）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出55百万円、無形固定資産の取得による支出17百万円、資産除去債務の履行による支出 3 百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、1 億70百万円（前年同四半期は 1 億82百万円の支出）となりました。これは、リース債務の返済による支出 1 億28百万円、配当金の支払額42百万円であります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年12月24日に公表しました当第 2 四半期の業績予想と実績につきましては、差異が生じる結果となりました。これにより、当社では、当第 2 四半期累計期間における業績の動向等を勘案するとともに、第 3 四半期以降における出店計画の変更等を踏まえて、通期の業績予想を修正しました。

なお、詳細につきましては、本日（平成26年 2 月 5 日）公表の「第 2 四半期業績予想と実績との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,403,235	3,666,577
受取手形及び売掛金	125,852	137,164
商品	6,230,660	6,486,603
貯蔵品	425	67
未収還付法人税等	157,247	—
その他	1,039,142	965,574
貸倒引当金	△1,873	△1,824
流動資産合計	10,954,692	11,254,163
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	866,682	878,968
土地	1,518,142	1,518,142
リース資産(純額)	738,453	746,537
その他(純額)	91,830	81,250
有形固定資産合計	3,215,108	3,224,899
無形固定資産	84,245	92,717
投資その他の資産		
差入保証金	2,094,852	1,996,793
その他	308,762	319,769
投資その他の資産合計	2,403,615	2,316,563
固定資産合計	5,702,969	5,634,181
資産合計	16,657,662	16,888,344

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,737,308	2,053,610
リース債務	234,132	247,704
未払法人税等	48,060	112,542
未払消費税等	30,621	28,220
賞与引当金	38,203	35,817
ポイント引当金	145,969	147,797
資産除去債務	9,689	11,263
その他	806,194	725,446
流動負債合計	3,050,179	3,362,401
固定負債		
リース債務	515,849	510,895
役員退職慰労引当金	190,977	197,878
資産除去債務	320,012	328,446
その他	353,042	352,072
固定負債合計	1,379,880	1,389,293
負債合計	4,430,060	4,751,695
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,375,850	2,375,850
資本剰余金	2,526,080	2,526,080
利益剰余金	9,787,589	9,690,370
自己株式	△2,470,726	△2,470,726
株主資本合計	12,218,793	12,121,574
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,808	15,075
評価・換算差額等合計	8,808	15,075
純資産合計	12,227,601	12,136,649
負債純資産合計	16,657,662	16,888,344

(2) 四半期損益計算書
(第 2 四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成24年 7 月 1 日 至 平成24年12月31日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成25年 7 月 1 日 至 平成25年12月31日)
売上高	10,608,250	10,655,645
売上原価	4,088,015	4,156,763
売上総利益	6,520,235	6,498,881
販売費及び一般管理費	6,509,726	6,431,815
営業利益	10,508	67,066
営業外収益		
受取利息	1,013	1,156
受取配当金	532	567
協賛金収入	3,202	2,284
受取手数料	6,835	3,950
法人税等還付加算金	—	4,099
その他	5,997	4,241
営業外収益合計	17,582	16,299
営業外費用		
支払利息	6,570	7,733
減価償却費	761	712
その他	567	322
営業外費用合計	7,899	8,768
経常利益	20,191	74,597
特別損失		
固定資産除却損	1,075	657
減損損失	23,103	13,788
店舗閉鎖損失	5,540	8,808
特別損失合計	29,718	23,253
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△9,527	51,343
法人税、住民税及び事業税	67,594	90,698
法人税等調整額	6,352	15,817
法人税等合計	73,946	106,515
四半期純損失(△)	△83,473	△55,171

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成24年 7 月 1 日 至 平成24年12月31日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成25年 7 月 1 日 至 平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△9,527	51,343
減価償却費	164,242	199,908
減損損失	23,103	13,788
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,859	△2,386
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△5,980	1,828
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7,753	6,901
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△53	△49
受取利息及び受取配当金	△1,546	△1,724
法人税等還付加算金	—	△4,099
支払利息	6,570	7,733
固定資産除却損	1,075	657
売上債権の増減額 (△は増加)	11,884	△11,312
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△700,336	△255,583
営業未収入金の増減額 (△は増加)	△1,339	5,261
差入保証金の増減額 (△は増加)	5,725	109,948
未消費税等の増減額 (△は増加)	△7,584	—
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△56,398	△2,400
仕入債務の増減額 (△は減少)	74,521	316,301
未払金の増減額 (△は減少)	△73,231	△85,686
その他	31,432	56,454
小計	△531,547	406,885
利息及び配当金の受取額	562	910
利息の支払額	△6,570	△7,733
法人税等の支払額	△298,104	△50,820
法人税等の還付及び還付加算金の受取額	—	161,346
営業活動によるキャッシュ・フロー	△835,659	510,588
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△110,602	△55,871
無形固定資産の取得による支出	△16,557	△17,490
資産除去債務の履行による支出	△10,281	△3,286
投資活動によるキャッシュ・フロー	△137,440	△76,647
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△124	—
リース債務の返済による支出	△97,863	△128,551
配当金の支払額	△84,096	△42,047
財務活動によるキャッシュ・フロー	△182,084	△170,599
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,155,184	263,341
現金及び現金同等物の期首残高	5,220,173	3,323,235
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,064,989	3,586,577

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足情報

事業部門別・商品区分売上高等の状況

① 事業部門別売上状況

区分	前第2四半期累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)		当第2四半期累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)		(参考)前事業年度 (平成25年6月期)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
店舗販売部門	10,128,012	95.5	10,138,387	95.2	21,371,946	95.6
通信販売部門	455,809	4.3	492,653	4.6	932,282	4.2
その他の部門	24,429	0.2	24,604	0.2	48,908	0.2
合計	10,608,250	100.0	10,655,645	100.0	22,353,137	100.0

(注) 1 その他の部門は、不動産賃貸収入であります。

2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

② 商品区分別売上状況

区分	前第2四半期累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)		当第2四半期累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)		(参考)前事業年度 (平成25年6月期)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
毛糸	818,465	7.7	760,171	7.1	1,464,433	6.5
手芸用品	3,053,706	28.8	2,903,307	27.3	6,070,133	27.2
生地	2,404,462	22.7	2,480,403	23.3	5,295,468	23.7
和洋裁服飾品	2,863,516	27.0	2,955,992	27.7	6,227,140	27.9
衣料品	332,126	3.1	418,414	3.9	693,524	3.1
生活雑貨	852,848	8.0	793,469	7.5	1,785,446	8.0
その他	283,123	2.7	343,887	3.2	816,991	3.6
合計	10,608,250	100.0	10,655,645	100.0	22,353,137	100.0

(注) 1 その他は、主に会員制による入会金の収入であります。

2 和洋裁服飾品の区分には、ミシンが含まれております。

3 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 業態別店舗数の状況

区分	前第2四半期累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)			当第2四半期累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)			(参考)前事業年度 (平成25年6月期)		
	出店	退店	四半期末	出店	退店	四半期末	出店	退店	期末
クラフトハートトーカー	26	5	373	15	3	396	44	12	384
クラフトワールド	—	—	2	1	1	2	—	—	2
クラフトパーク	3	2	40	2	—	42	6	5	40
クラフトループ	1	1	5	—	—	5	1	1	5
サントレーム	1	—	30	3	2	30	2	2	29
合計	31	8	450	21	6	475	53	20	460

(注) 「クラフトハートトーカー」、「クラフトワールド」、「クラフトパーク」及び「クラフトループ」は手芸・クラフト専門店であり、「サントレーム」は生活雑貨専門店であります。